



日本工業規格

JIS
A 0012-1980

住宅用サニタリーユニットの モジュール呼び寸法

Modular Co-ordination — Sizes of Sanitary Unit for Dwellings

1. 適用範囲 この規格は、住宅に使用されるサニタリーユニット（以下、ユニットという。）のモジュール呼び寸法⁽¹⁾について規定する。

注⁽¹⁾ この規格でモジュール呼び寸法とは、3.2に規定する構成材基準面間の距離をいう。

引用規格：

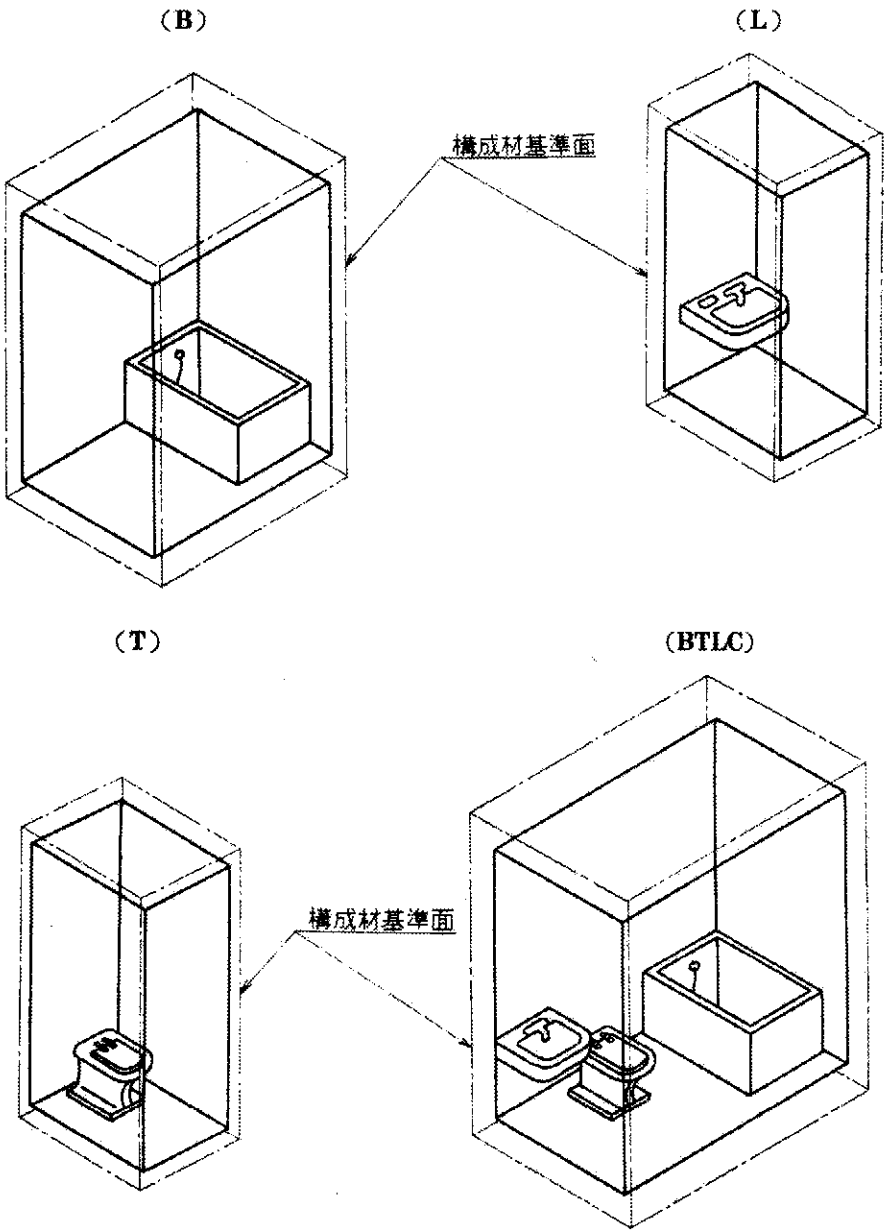
JIS A 0004 建築のモジュール割りの原則

2. 種類 ユニットの種類は、表1のとおりとする（図1参照）。

表1 ユニットの種類

種類	記号	摘要
浴室ユニット	B	入浴用の室形ユニット
便所ユニット	T	用便用の室形ユニット
洗面所ユニット	L	洗面又は洗面・洗たく用の室形ユニット
複合サニタリーユニット	BTLC	入浴、用便、洗面の機能を1室に複合した室形ユニット

図 1



3. 寸法

3.1 モジュール呼び寸法 ユニットのモジュール呼び寸法は、表 2 のとおりとする。

表 2

		単位 mm								
方向		モジュール呼び寸法								
水平方向	長辺	1200	(1250)	1350	1500	(1700)	1800	2100	2400	2700
	短辺	(800)	900	(1100)	1200	(1250)	1350	1500	(1700)	1800
鉛直方向	高さ	2100	2200	2300	2400					

備考 長辺及び短辺の () 内の寸法は、当分の間認める。

参考表 1 浴室ユニット

参考表 2 複合サニタリーユニット

参考表 3 便所ユニット

[illegible]

参考表 4 洗面所ユニット

単位 mm

長辺 短辺	1200	(1250)	1350	1500	(1700)	1800	2100	2400	2700
(800)									
900	◎		◎	◎					
(1100)									
1200	◎				◎				
(1250)					◎				
1350					◎				
1500									
(1700)									
1800									

3.2 構成材基準面と最大外形面⁽²⁾ ユニットの構成材基準面と最大外形面との関係は、次の各項による。

注⁽²⁾ 最大外形面とは、JIS A 0004（建築のモジュール割りの原則）に規定する構成材の最大寸法を形成する面をいう。

(1) 構成材基準面は最大外形面の外側に設ける。ただし、ユニットのすえ付け、そう入、他のユニットとの接合及び部材との接合に当たって、工世上支障のない部分は構成材基準面を超えてもよい。

なお、工世上支障のない部分とは次のようなものをいい、いずれも突出部の寸法が表示されていなければならない。

- (a) ユニットのすえ付け又はそう入方向に設けてある突出部分（図 2 参照）。
- (b) そう入方向以外の方向については、ユニットのすえ付け又はそう入に際し、一時取り外して、すえ付けた後支障なく原形に復することができるもの。ただし、可とう性がある、押え込みなどにより、構成材基準面内に納めることができ、すえ付けに支障のない部分はこれに含む（図 3 及び図 4 参照）。
- (c) 出入口側などで、他の構成材と取り合わない面の軽微な突出部（図 5 参照）。
- (d) 戸建住宅用で床下に突出する部品（図 6 参照）。
- (e) その他、あらかじめ取り決めがされている部品。

図 2 すえ付け・そう入方向にある突出部分（例）

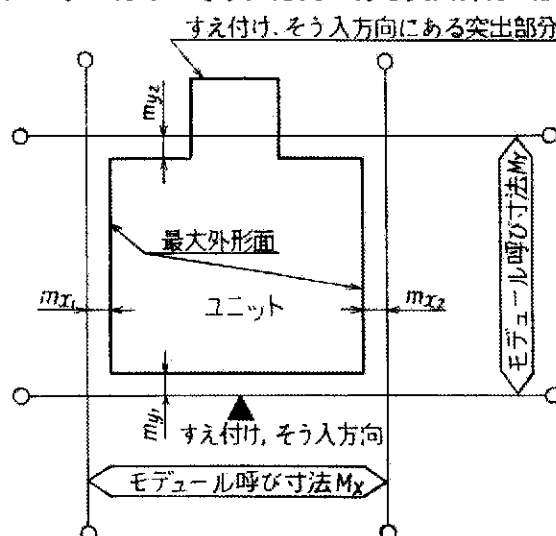


図3 取り付け・取り外しの可能な部分（例）

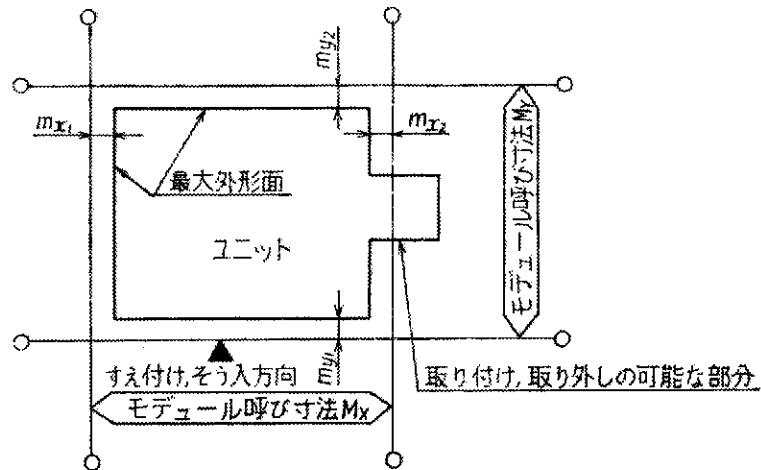


図4 押さえ込みなどにより基準面内に納めることのできる部分（例）

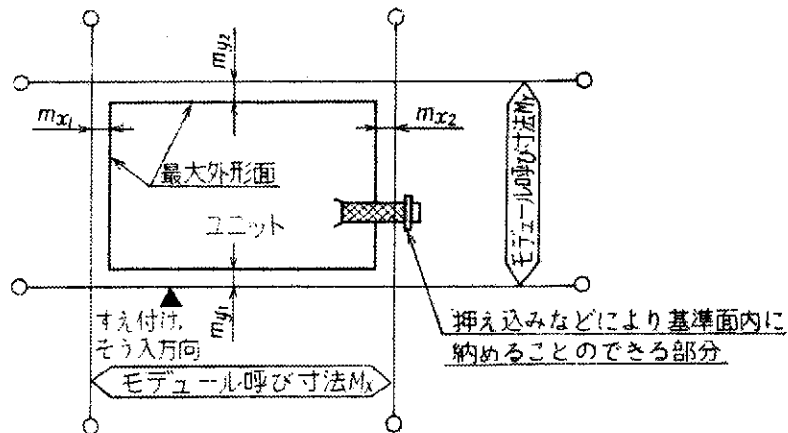


図5 出入口面への軽微な突出部（例）

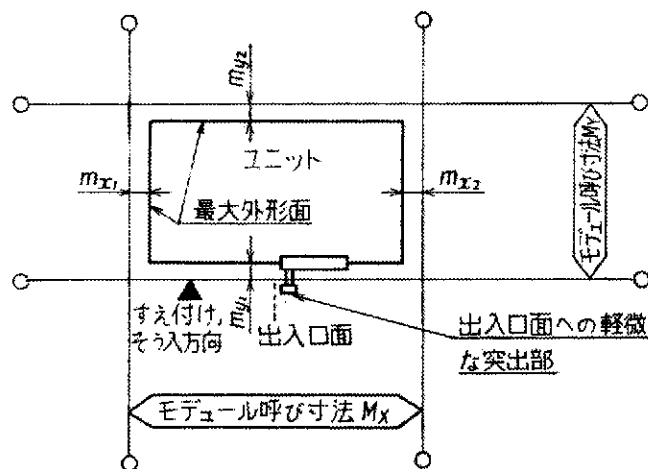
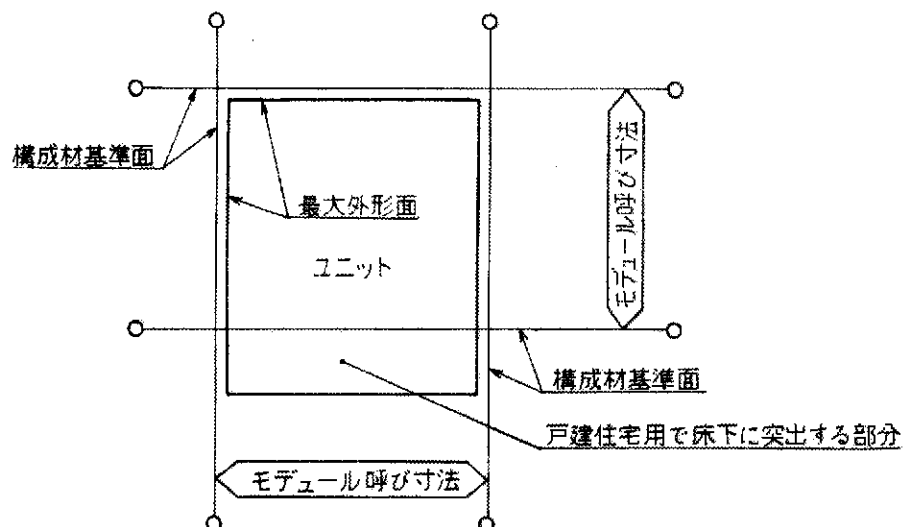


図6 戸建住宅用で床下に突出する部分（例）



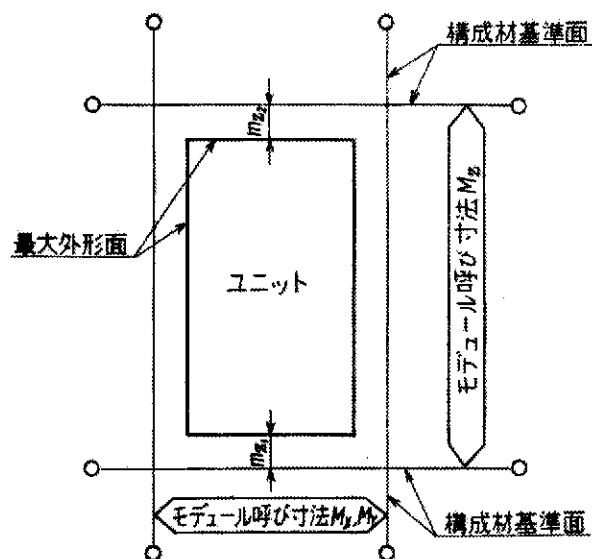
(2) 構成材基準面と最大外形面との間の距離の推奨値は、次のとおりとする。

$$\left. \begin{array}{l} \text{水平方向 } m_x = (m_{x1} + m_{x2}) = \\ m_y = (m_{y1} + m_{y2}) = \\ \text{鉛直方向 } m_z = (m_{z1} + m_{z2}) = \end{array} \right\} 0 \sim 60 \text{mm}$$

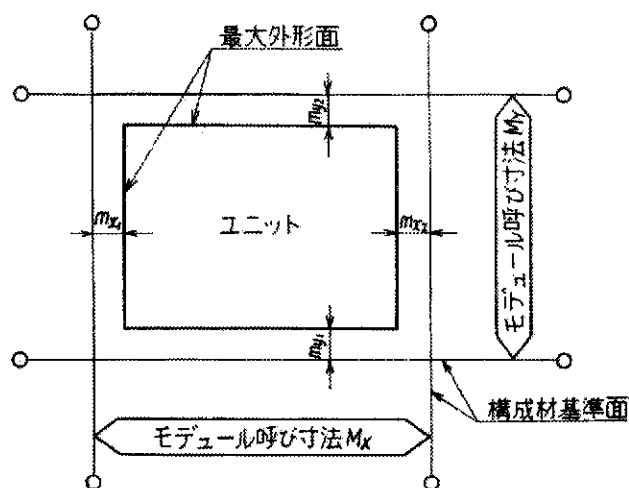
なお、水平方向及び鉛直方向におけるモジュール呼び寸法と最大外形面との関係は、図7による。

図7

(1) 鉛直方向

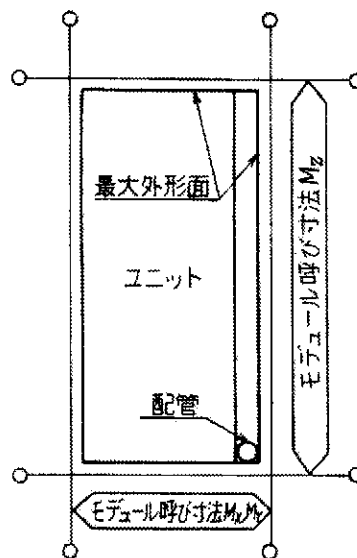


(2) 水平方向



参考 配管がユニットの外部にある場合は、最大外形面の内側とする（参考図参照）。

参考図



備考 施工取扱説明書に m_{x1} , m_{x2} , m_{y1} , m_{y2} , m_{z1} 及び m_{z2} のそれぞれの値をわかりやすく図示するものとする。

3.3 公差 製作寸法の公差は、表 2 のとおりとする。

表 2

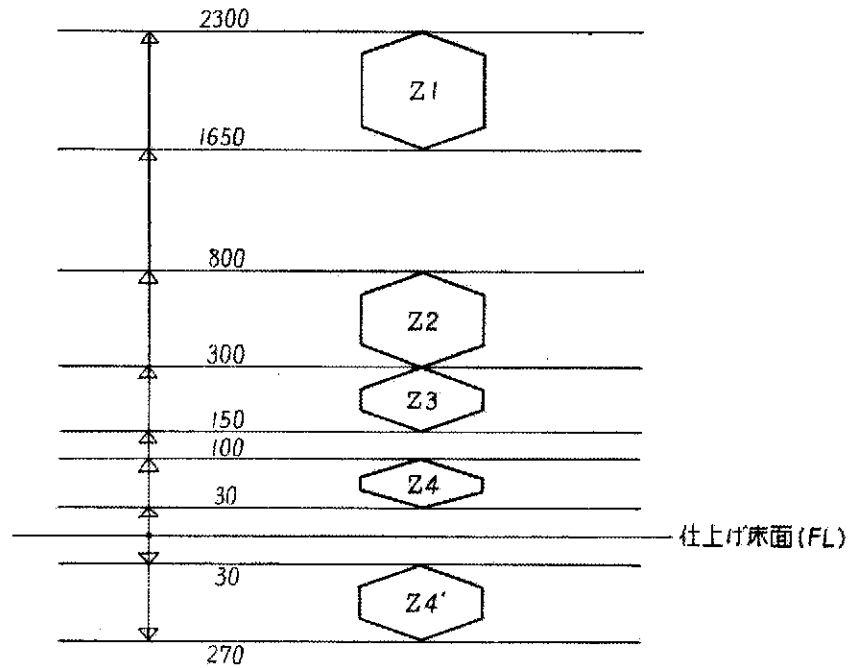
単位 mm	
製作寸法	公差
1600 未満	5
1600 以上	10

参考 配管・配線・ダクトの接合の中心の位置及び仕上げ床面の高さは、下記を参考とする。

(1) 配管・配線及びダクトの接合部の中心位置は、**参考図**による。

参考図

単位 mm



Z 1 便所, 浴室等の排気, 煙突, 電気

Z 2 給湯, 給水, ガス

Z 3 汚 水

Z 4 上部排水

Z 4' 下部排水

(2) ユニット脚下端と建物の仕上げ床面との高さの差は、次による。

0mm, 130mm, 150mm, 180mm, 250mm